

平成29年度 江田島市当初予算の概要



1) 江田島市の現状

・江田島市の人口減少
⇒5年間で約▲2,700人
～今後も減少傾向で推移する見込

【要因その①】

・生まれてくる方より、亡くなる方が多いこと

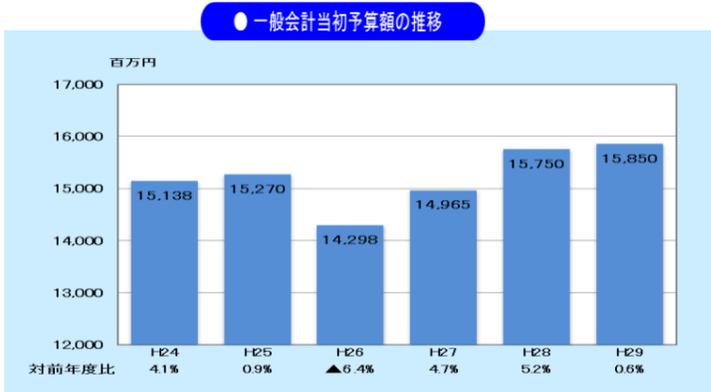
【要因その②】

・市内へ転入される方より、就職などを契機として、市外へ転出される方が多いこと



2) 平成29年度予算の規模

平成29年度一般会計当初予算は158億5,000万円で、対前年度比1億円の増(0.6%)となり、3年連続で増加しています。
また、予算規模は、合併直後の平成17年度(186億1,700万円)に次ぐ2番目に大きい規模となっています。
本市における人口減少という課題に果敢に挑戦し、かつ『ワクワクできる島』えたじまを実現するための施策を盛り込んだ積極的な予算となっています。



| 区分 | 平成29年度 | 平成28年度 | 増減額 | 伸率% |
|------|--------|--------|-----|------|
| 一般会計 | 15,850 | 15,750 | 100 | 0.6 |
| 特別会計 | 8,992 | 9,057 | ▲65 | ▲0.7 |
| 企業会計 | 3,423 | 3,115 | 308 | 9.9 |
| 合計 | 28,265 | 27,922 | 343 | 1.2 |

3) 当初予算の3つの重点テーマ

人口減少の改善を図り、住む人も、訪れる人も『ワクワクできる島』えたじまづくりに向けた3つの挑戦!

しごとの創出

将来を支える若い世代が、江田島市に住み続けるための「しごと」を創ります。

【主な取組項目】

- ① 新たな宿泊観光関連施設の整備
- ② 廃校施設跡地などを活用した企業誘致
- ③ 6次産業化や地産地消の促進
- ④ 農業・漁業の担い手確保
- ⑤ 起業・創業の促進
- ⑥ しごとと人のマッチング

子育てしやすい環境づくり

「江田島市で子育てしたい」と感じることができるよう、安心して魅力的な子育て環境を構築します。

【主な取組項目】

- ① 通学費等の子育て世代の負担軽減
- ② 安心な保育サービスの実施
- ③ 豊かな教育環境の確保・提供
- ④ 次世代を担う子どもの誕生の応援
- ⑤ 公園の整備内容の検討

健康寿命の延伸

市民の皆様が元気でいきいきと暮らす、「健康寿命」日本一の江田島市を目指します。

【主な取組項目】

- ① 市民の主体的な健康づくりの促進
- ② 高齢者の活躍の場の確保
- ③ 疾病の予防や早期治療
- ④ 高齢者が安心して暮らせる仕組みづくり

主な取組項目の事業

しごとの創出

- ① 新たな宿泊観光関連施設の整備
 - ・魅力ある宿泊観光関連施設整備事業(925万円)
 - ※整備等に対する補助金上限額5億円の債務負担行為を計上。(平成30年度又は31年度)
- ② 廃校施設跡地などを活用した企業誘致
 - ・しごとの場創出事業(107万円)
- ③ 6次産業化や地産地消の促進
 - ・6次産業化対策事業(581万円)
- ④ 農業・漁業の担い手確保
 - ・新規就農者支援対策事業費補助金(1,520万円)
 - ・新規漁業就業者支援事業補助金(300万円)
- ⑤ 起業・創業の促進
 - ・起業支援事業補助金(250万円)
 - ・企業立地奨励金補助金(150万円)
- ⑥ しごとと人のマッチング
 - ・無料職業紹介所事業(200万円)

子育てしやすい環境づくり

- ① 通学費等の子育て世代の負担軽減
 - ・定住促進通学費支援事業(2,840万円)
 - ・定住促進奨学金返還支援事業(1,220万円)
- ② 安心な保育サービスの実施
 - ・(仮称)認定こども園えたじま新築工事(6億9,367万円)
- ③ 豊かな教育環境の確保・提供
 - ・小・中学校校内無線LAN整備工事(610万円)
 - ・里海学習推進事業(215万円)
- ④ 次世代を担う子どもの誕生の応援
 - ・妊婦健康診査交通費等助成事業(210万円)
 - ・不妊治療支援事業(270万円)
- ⑤ 公園の整備内容の検討
 - ・鹿田公園外都市基幹公園等整備事業(1,000万円)

健康寿命の延伸

- ① 市民の主体的な健康づくりの促進
 - ・第3次健康江田島21計画の策定(780万円)
 - ・いきいき百歳体操(予算なしで実施)
- ② 高齢者の活躍の場の確保
 - ・老人クラブ連合会補助金(700万円)
 - ・シルバー人材センター補助金(1,064万円)
- ③ 疾病の予防や早期治療
 - ・健康増進事業(81万円)
 - ・生活習慣病健診事業(3,520万円)
 - ・がん検診推進事業(209万円)
- ④ 高齢者が安心して暮らせる仕組みづくり
 - ・民生委員・児童委員の活動支援(419万円)
 - ・安心生活創造事業(見守り支援員)(970万円)
 - ・緊急通報システムの設置(190万円)
 - ・認知症初期集中支援チームの設置(236万円)

